

リサイクル燃料貯蔵株式会社		
提出日	2022年3月30日	
管理表No.	0113-21	改訂00

項目	コメント内容
搬送設備及び受入施設 (第15条)	停電時の保持機能の説明について、別添 2.2の説明では、天井クレーンについては「停電時にブレーキを設ける」と説明があるが、基準では「安全に保持」することを求めており、ブレーキが動作した際にキャスク自体を確実に保持できることを明確に説明すること(添付11-1P2の説明でも、保持するための具体的な機能が説明されていないので、具体的に機能を説明すること)。

(回答)

受入れ区域天井クレーンのブレーキは、動力源である電気の供給を遮断することで機械的に動作するブレーキを設けていることから、停電時においても吊荷を安全に保持できる設計である。

クレーン巻上げ及び巻下げ時は、電気の供給によりスラストを押し上げ、ブレーキパッドライニングをディスクから離す構造となっている。電気の供給が遮断されると、スラストを押し上げる力がなくなり、スプリング力でブレーキパッドライニングをディスクに押し当てることにより吊荷を保持する。(図1参照)

スプリング力は、クレーンの最大取扱重量を考慮した設計であり、停電時においても吊荷を安全に保持できる設計である。

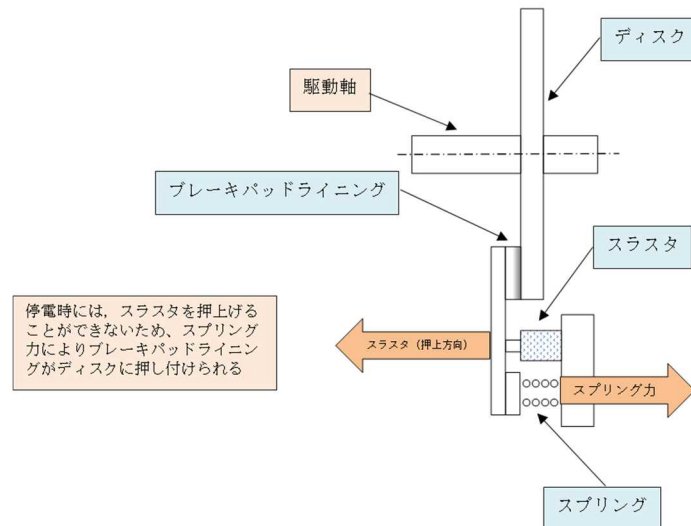


図1 停電時のブレーキ動作について

設工認申請書の記載を以下のとおり修正する。

別添 2.2 使用済燃料の受入施設(搬送設備及び受入設備)

(2) 基本設計方針

e. 受入設備

(a)受入れ区域天井クレーン

変更前：ハ．受入れ区域天井クレーンは、動力源である電気の供給が停止した場合に動作するブレーキを設ける。

変更後：ハ．受入れ区域天井クレーンは、動力源である電気の供給が停止した場合にスプリング力で機械的に動作するブレーキを設ける。また、ブレーキのスプリング力は、最大取扱重量を考慮することで、金属キャスクを安全に保持できる設計とする。

添付11-1 受入れ区域天井クレーンの金属キャスクの取扱いに関する説明書

「2. 設計方針」に以下を追加する。

<略>

受入れ区域天井クレーンは、動力源である電気の供給が停止した場合にスプリング力で機械的に動作するブレーキにより金属キャスクを安全に保持できる設計とする。

また、ブレーキのスプリング力は、最大取扱重量を考慮することで、金属キャスクを安全に保持できる設計とする。

以上